

各課の行動目標(Can-do Statements)に即して学ぶ
「対話力」に重きをおき、人・社会とつながる力を養う

使ってみよう！

できる日本語



監修のことば

今、日本語教育は大きく動いています。2021年に出た「日本語教育の参照枠」は、しっかりと日本語教育が向かうべき方向性を示しています。「参照枠」は、CEFRを参考に、「日本語の習得段階に応じて求められる日本語教育の内容・方法を明らかにし、外国人等が適切な日本語教育を継続的に受けられるようにするための、日本語教育に関わる全ての者が参照できる、日本語学習、教授、評価のための枠組み」として公開されました。

「参照枠」には、「日本語学習者を社会的存在として捉える／言語を使って「できること」に注目する／多様な日本語使用を尊重する」といった3つの言語教育観の柱が示されています。これは、『できる日本語』をつくるにあたって、著者陣が大切にしてきたものの一つでもあります。それは、1990年から日本でも始まったACTFL-OPIや、2001年に出たCEFRの考え方を基盤にして『できる日本語』がつけられてきたからなのです。こうしたことから、『できる日本語』は、「参照枠」の考え方を具現化した教材といえます。

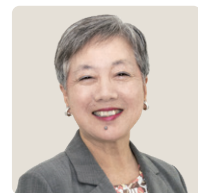
ここで『できる日本語』の8つの特徴を記しておきたいと思います。

- ① 行動目標が明確である。
- ② 場面・状況を重視し、さらに言語的知識も大切にしている。
- ③ 学習者にとって必然性のあるタスクである。
- ④ タスク先行(まずチャレンジ!)で進める。
- ⑤ 文脈化を大切にしている。
- ⑥ 「固まりで話すこと」を重視している。
- ⑦ スパイラル展開を重視している。
- ⑧ 「他者への配慮」のある談話となっている。

「できる日本語」シリーズは、「自分のこと／自分の考えを伝える力」「伝え合う・語り合う日本語力」を身につけることを目的にした教科書です。日本語によるコミュニケーションの中でも「対話力」に重きをおき、人・社会とつながる力を養います。同時に、場面・状況の中で学んだ言語的知識が長期記憶になるよう、さまざまな工夫が加えられています。

また、「聞くこと／読むこと／話すこと(やり取り)／話すこと(発表)／書くこと」といった5つの言語活動がバランスよく学べるように構成を考え、コミュニケーション言語方略を大切にし、初級段階からストラテジー能力が身につくように配慮し、さらに、学習者の自律的な学びを大切にしていきました。

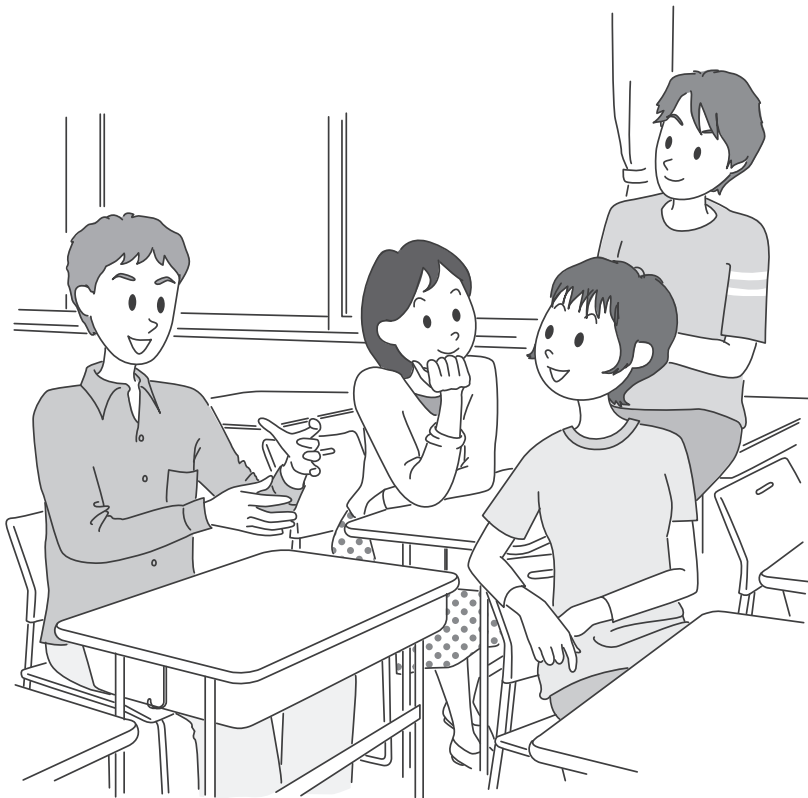
皆さま、「学習者も教師もわくわくできる授業」をめざしてつくられた『できる日本語』で、新たな一歩を踏み出してみませんか。



監修：嶋田和子

目 次

「できる日本語」シリーズ一覧	2
『できる日本語』のコンセプト・特徴	4
「初級」「初中級」の構成と授業の流れ	8
サポート情報	14



「できる日本語」シリーズ一覧

・価格はすべて税抜き表示です。



できる日本語 初級本冊

監修: 嶋田和子

著: できる日本語教材開発プロジェクト

3,400円 B5判 302ページ+別冊56ページ+エンハンスドCD3枚

ISBN 978-4-7574-1977-3

各課の行動目標を達成するために、多くのイラストで「場」や「状況」を重視してことばを学び、さらに言語的知識も大切にしています。「固まり」で話す「談話構成力」を身につけることに着目し、コミュニケーション力を高めます。



できる日本語 初中級本冊

監修: 嶋田和子

著: できる日本語教材開発プロジェクト

3,400円 B5判 246ページ+別冊59ページ+エンハンスドCD3枚

ISBN 978-4-7574-2084-7

『初級』に続く本書では、行動目標を中心に場面や状況、トピックを通じて学習するスタイルはそのままに、相手や場面、状況を発展させた学習を進め、「できること」を増やしていきます。



できる日本語 中級本冊

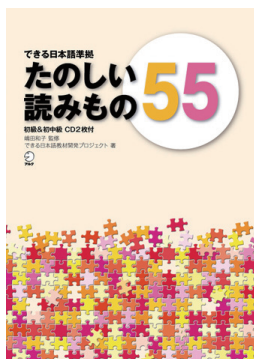
監修: 嶋田和子

著: できる日本語教材開発プロジェクト

3,400円 B5判 320ページ+CD2枚

ISBN 978-4-7574-2278-0

学習スタイルはそのままに、より複雑で抽象的な課題で学習していきます。初中級レベルでは話題にすることが難しいテーマや事柄などを4技能を使いながら学びます。



できる日本語準拠 たのしい読みもの55 初級&初中級

監修: 嶋田和子

著: できる日本語教材開発プロジェクト

2,600円 B5判 112ページ+別冊64ページ+CD2枚

ISBN 978-4-7574-2277-3

「日本で暮らす」「日本を知る」の2部に分かれています。「読むこと」を通して、人と人とがつながり、豊かな生活が送れることを目指して作られた教材です。

副教材(凡人社)

初級



できる日本語
わたしの文法ノート 初級
1,000円 B5判
104ページ+別冊24ページ
ISBN 978-4-8935-8801-2



できる日本語
わたしのことばノート 初級
1,000円 B5判
88ページ+別冊12ページ
ISBN 978-4-8935-8811-1



できる日本語準拠
「漢字たまご」初級(新装版)
1,600円 B5判
168ページ+別冊24ページ
ISBN 978-4-8674-6022-1

初中級



できる日本語
わたしの文法ノート 初中級
1,000円 B5判
152ページ+別冊28ページ
ISBN 978-4-8935-8837-1



できる日本語
わたしのことばノート 初中級
1,000円 B5判
112ページ+別冊16ページ
ISBN 978-4-8935-8848-7



できる日本語準拠
「漢字たまご」初中級(新装版)
1,600円 B5判
191ページ
ISBN 978-4-8674-6023-8

中級



できる日本語 中級
ことば・表現ワークブック
1,600円 B5判
182ページ
ISBN 978-4-8935-8947-7



漢字たまご 中級1
2,000円 B5判
236ページ+別冊36ページ
ISBN 978-4-8674-6017-7



『できる日本語』のコンセプト・特徴

『できる日本語』は、CEFRの考え方を基に、各課に行動目標を設定して作られた教科書です。「対話力」に重きをおき、人・社会とつながる力を養うことを目指しています。登場人物は日本語学校に通う留学生と、彼等を取り巻く人々です。

『できる日本語』の特徴

- ① 行動目標が明確である。
- ② 場面・状況を重視し、さらに言語的知識も大切にしている。
- ③ 学習者にとって必然性のあるタスクである。
- ④ タスク先行(まずチャレンジ!)で進める。
- ⑤ 文脈化を大切にしている。
- ⑥ 「固まりで話すこと」を重視している。
- ⑦ スパイラル展開を重視している。
- ⑧ 「他者への配慮」のある談話となっている。

行動目標(Can-do Statements)が明確！

『できる日本語』では、課ごとの行動目標が明確であり、スモールトピック(ST)ごとの「できること」も設定されています。

■ 初級6課「一緒に！」の行動目標とスモールトピック(ST)の「できること」

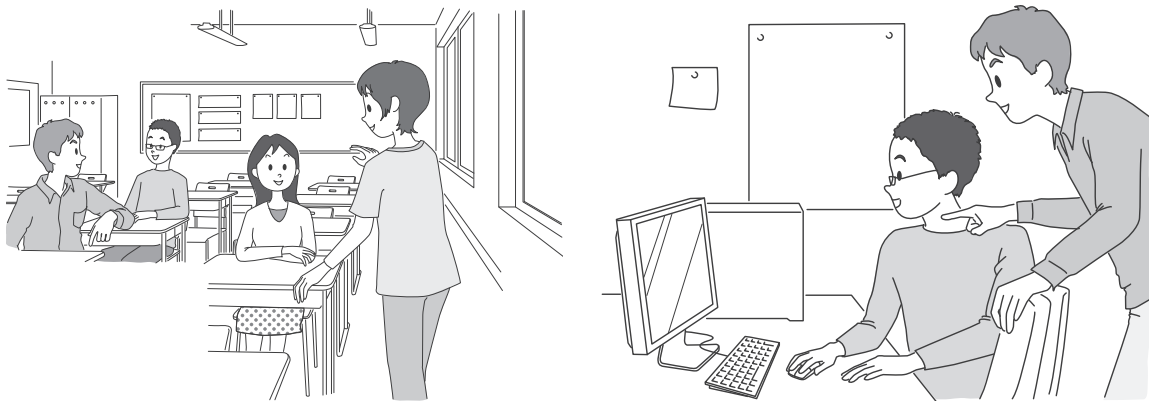
課	行動目標	ST	タイトル	できること	学習項目
初級第6課「一緒に！」	友達を誘ったり、行きたいところやしたいことを一緒に相談したりして、約束することができる	1	一緒に行きませんか	友達を誘うことができる。 また、誘いを受けたり断ったりすることができる	Vませんか Vましょう ～はちょっと… ～があります 【場所】で～があります ～が(～枚)あります
		2	どちらがいいですか	友達の意向を聞いたり情報を比べたりしながら相談することができる	～で～がいちばんAです ～と～とどちらがAですか ～のほうがAです ～は～よりAです
		3	約束	会う場所や時間などを約束することができる	もうVましたか(経験) まだです ～よ ～はどうですか ～ね(確認)

また、6課の各レベルの行動目標を比較してみてください。共通テーマである「外に出る」を軸に、次第に個人のことから地域社会との関わりを持った行動目標になっていくのが分かると思います。

■ 各レベルの第6課の行動目標

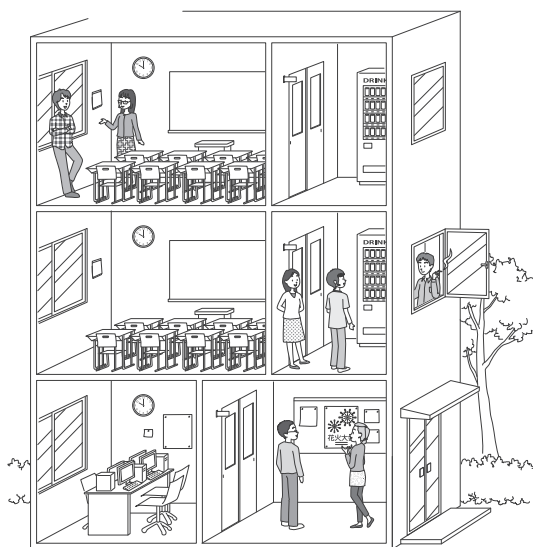
レベル	初級	中級	中級
タイトル	一緒に！	旅行に行こう	地図を広げる
行動目標	友達を誘ったり、行きたいところやしたいことを一緒に相談したりして、約束することができる。	旅行に行くために事前に情報を収集したり相談したりして、旅行に行く前の準備ができる。	ふるさとや住んだことがある場所の地理や気候に合わせた生活を紹介して、お互いの理解を深めることができる。

場面・状況を重視！



「できること」を学んでいくにあたって、まずは場面・状況を提示します。学習者はイラストを見ながら、「そうか、こんな場面・状況での発話なんだ！」と理解します。例えば初級6課スモールピック2では、教室で友達を誘って、パソコンの画面を見て情報を比べながらどこに行くか相談する、という状況をイラストで確認した上で「～と～とどちらがAですか」という学習項目を学びます。こんな場面・状況だからこんな学習項目を学ぶのだ、ということがつながるので、学習項目への理解が深まります。

まずはチャレンジ！



これは初級6課スモールピック1の状況イラストとコマイラストです。「～ませんか」「～ましょうか」が学習項目ですが、最初に文の形の導入はしません。まずは「自分の知っている日本語」を使ってチャレンジしてみます。

『できる日本語』のコンセプト・特徴

固まりで話す！

話読聞書

「楽しい1日」

日曜日、友達と近くの山に登りました。天気が上がったので、とても気持ち良かったです。山でお弁当を食べました。山からの景色はとてもきれいでした。それから、古いお寺を見に行きました。とてもおもしろかったです。とても楽しい1日でした。また行きたいです。

近く 1日 また

通策、何をしましたか

誰と
行きましたか

どうでしたか

へえ、それから？

『できる日本語』では、〈1文→羅列文→段落〉と「固まりで話すこと」を意識しています。初級の段階から、できるだけ文と文をつなぎ、「ある程度の長さで自分のことや自分の考えを伝えることができる」ようになることを目指しています。

『できる日本語』を通して学習していく中で、学習者は日本語で「自分のこと／自分の考えを伝える」「他者と伝え合う・語り合う」ことの楽しさを十分に味

わうことができるでしょう。初級・初中級では【話読聞書】で簡単なやりとりを積み上げて、「固まりで話す」ことにつなげていきます。こういった学びを毎課していくことで、たくさんの「話す引き出し」が頭の中にできていきます。

スパイラル展開！

■「初級・初中級・中級」各課のタイトル

	共通テーマ	初級	初中級	中級
1	出合い	はじめまして	新しい一歩	新たな出会い
2	消費生活	買い物・食事	楽しいショッピング	楽しい食事・上手な買い物
3	計画	スケジュール	私の目標	時間を生かす
4	私がいるところ	私の国・町	住んでいる町で	地域を知って生活する
5	できごと	休みの日	大変な1日	緊急事態！
6	外に出る	一緒に！	旅行に行こう	地図を広げる
7	交流	友達の家で	西川さんの家へ	世代を超えた交流
8	想い	大切な人	ありがとう	気持ちを伝える
9	趣味・余暇	好きなこと	アルバイト先で	言葉を楽しむ
10	旅	バスツアー	旅行に行って	日本を旅する
11	ライフ	私の生活	地域社会の中で	ライフスタイル
12	健康	病気・けが	私の健康法	心と体の健康
13	影響	私のおすすめ	親の気持ち・子の気持ち	トレンドに乗ってつながる
14	文化	国の習慣	イベント・行事	カルチャーショック
15	メディアと暮らし	テレビ・雑誌から	気になるニュース	情報社会に生きる
16	教育			学校生活
17	仕事			働くということ
18	環境			地球に生きる
19	科学			科学の力
20	豊かさ			豊かさで幸せ

『できる日本語』は、学習者にどんな力を身につけていってほしいのか縦軸で全体像をしっかりと描いた上で作成されました。表を見ると、レベルを超えて共通のテーマが設定され、スパイラルに展開していることがお分かりいただけると思います。レベルが上がるにつれて、自分のことから次第に社会と広く深く関わりを持つような内容になっています。また、課の中においても、スモールトピック1で学んだ文型がスモールトピック2、3でも、手を変え品を変え繰り返し出てくるように工夫されています。

『できる日本語』学習時間の目安

■ 日本語教育機関における『できる日本語』の進度

	3カ月	3カ月	3カ月	3カ月	3カ月	3カ月
標準的なクラス	初級	初中級	中級			
	2.5カ月	3.5カ月	6カ月			
ゆっくりクラス	初級	初中級	中級			
	3.5カ月	4.5カ月	9カ月			

※2年コースで、もう少し時間をかけたいクラスの場合は、「初級」に時間をかけすぎず、「中級」に時間をかけるようにしてください。

『できる日本語』の到達目標と「日本語教育の参照枠」

■ 日本語教育機関2年コースにおける到達目標

A1	A2	B1	B2	C1
基礎段階の言語使用者		自立した言語使用者		熟達した言語使用者
できる日本語初級	→ できる日本語初中級	→ できる日本語中級	→ 上級Ⅰ&Ⅱ	→ 上級Ⅲ

*『できる日本語』に関しては、それぞれ教材の到達目標を示しています(1年目のコース)。

*「初中級」は、一般的な言い方では「初級2/初級後半」レベルとなります。

*2年目の「上級コース」は、イーストウエスト日本語学校のカリキュラムです(教材は提示していません)。

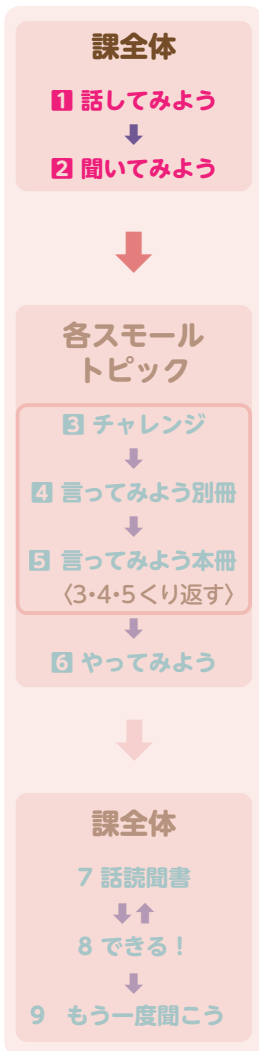
OPIおよびJLPTとの関係性

■ 『できる日本語』の到達目標と「日本語教育の参照枠」

レベル	OPI	JLPT
上級Ⅲ	上級-中～上級-上	
上級Ⅰ&Ⅱ	上級-下～上級-中	N1
中級	後半	N2
	前半	N3
初中級	中級-中	N4
初級	初級-上～中級-下	N5

「初級」「初中級」の構成と授業の流れ

「初級」「初中級」の授業の基本的な流れをご紹介します。「中級」は、「初級」「初中級」とコンセプトは同じですが、課の構成が異なります。「授業の進め方動画」などを参考にしてください。



1 話してみよう

イラストや写真を見ながら、知っていることやこれまでに習ったことば・表現を使って自由に話し、その課のテーマについてイメージ化を図ります。



進め方

- イラストを見て、学習者に知っていることば・表現を使って自由に話してもらいます。教師は、発話が出るように適宜問いかけをしてください。
- 地域にあった写真やイラスト、実物を使うこともあります。

ちょっとアドバイス

- 地域や学習者に合わせて写真やイラスト、実物を使うこともおすすめです。

2 聞いてみよう

新しい課の内容に入る前に、まずはその課で学ぶ会話を聞いてみることで、その課で学ぶことをイメージします。また、知っていることばと文脈を手がかりとして、推測しながら聞いてみます。

進め方

- 基本的に、一度通して最後まで聞きます。
- 聞き終わったら、教師は学習者にどこで行われている会話か、どんな人たちが話しているか等の問いかけをします。

ちょっとアドバイス

- ここは、スクリプトを見ないで聞くようにしてください。心配そうな人がいたら「大丈夫です。この課が終わったら、聞き取れますよ」などと声かけをしてください。
- これから習う文型や語彙が入っている会話なので、すべてが分かるわけではありません。



3 チャレンジ

課全体

1 話してみよう



2 聞いてみよう



各スモール トピック

3 チャレンジ



4 言ってみよう別冊



5 言ってみよう本冊
(3・4・5くり返す)



6 やってみよう



課全体

7 話読聞書



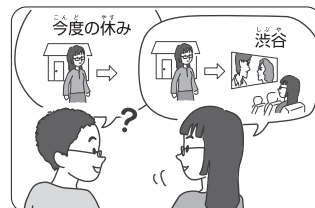
8 できる!



9 もう一度聞こう



状況イラスト



コマイラスト

「状況イラスト」は、その会話が行われている状況を示しています。「コマイラスト」には、新しい学習項目が含まれています。「こんな場面・状況で何と言ったらいいか」と学習者が、まず自分が知っている日本語でチャレンジします。

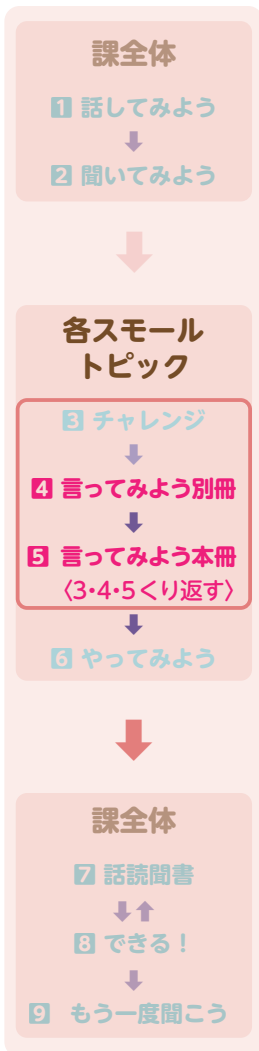
進め方

- 「状況イラスト」を提示し、学習者にどんな場面・状況なのか問いかけて、やり取りをします(例「ここはどこですか」など)
- 「コマイラスト」(□番号がついているイラスト)を提示し、「こんなとき、どう言ったらいいか」チャレンジしてから、学習項目に焦点を当てます。
- 音声を聞いて、学習項目が使われている文に注目し、どんな日本語が使われていたかを確認し、ホワイトボード等に該当する文を書き出します。
- 学習項目のポイントを押さえます。

ちょっとアドバイス

- 「コマイラスト」では、自分がその場にいたらなんて言うだろうと、自分事として考えてもらうようにしてください。
- 学習項目だけではなく、「コマイラスト」の会話の流れにも注目するようにしてください(コマイラストは複数ある場合もあります)。
- 音声を聞く前に、ここで新しく学習する項目にしっかり学習者の意識が向くようにしてください(チャレンジですので、学習項目が言えないのは当然です!)

「初級」「初中級」の構成と授業の流れ



4 言ってみよう 別冊

学習項目に焦点を当てた口頭練習をします。

進め方

- 基本的に、チャレンジ①⇒言ってみよう別冊①⇒言ってみよう本冊①⇒チャレンジ②⇒言ってみよう別冊②⇒言ってみよう本冊②……と進めていきます。
- 別冊に出ている練習をしますが、文字だけのところではイラストを使うなど工夫しながら進めます。

ちょっとアドバイス

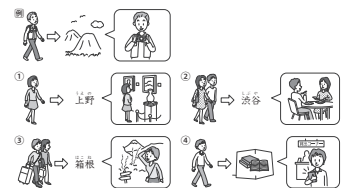
- ここは、学習項目に焦点を当てて、「口を動かす練習」ですが、必要以上に時間をかけすぎないようにしてください。メインは「言ってみよう本冊」です。
- 別冊での練習は、学習者のレベルや状況に合わせて練習を増やしたり、減らしたり調整して実施してください。
- 別冊にも「新出語彙」が入っています。

5 言ってみよう 本冊

学習者が実際に遭遇するであろう場面・状況での会話を練習することで、学習項目が談話の中で適切に使えるようになることを目指します。



4 例 A: 日さん、今度の休みにどこかへ行きますか。
B: はい、山田学童を連れて行きます。



進め方

- どこで何をしているところかについて、学習者に確認します。
- 例を学習者と一緒に読みながら、談話の流れを確認します。
- キューを使って練習します。その後、クラスや学習者にもよりますが、学習者自身で考えたり、やり取りを増やしたりします。
- ペアなどで練習後、発表してもらい全体で共有します。

ちょっとアドバイス

- 2つのマークに気をつけてください。「☞」は、会話の一部を学習者が自由に考えて話します。「☺」は、例を用いて、学習者自身のことで話します。



課全体

① 話してみよう



② 聞いてみよう

各スモール
トピック

③ チャレンジ



④ 言ってみよう別冊



⑤ 言ってみよう本冊

(3・4・5くり返す)



⑥ やってみよう



課全体

⑦ 話読聞書



⑧ できる!



⑨ もう一度聞こう

⑥ やってみよう

「やってみよう」は、スモールトピックのゴールです。目的は、スモールトピックに示された「できること」が達成できることです。

進め方

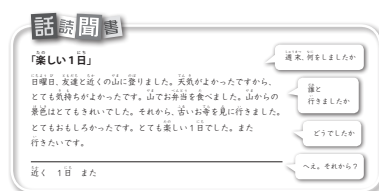
- 会話を聞きます。聴解練習ではありません。これまで習った学習項目が含まれている会話を聞いて、「どんなとき、どのように使われているか」を確認するために音声を聞きます。
- 解答を確認しながら、どうしてそう思ったのか、どのことば・表現がポイントになったかなど学習者に聞きます。
- 学習者がタスクに取り組みます。このスモールトピックで学習した項目だけではなく、それまでに学習したことば・表現をいろいろ使って、タスクに取り組むよう伝えます。

ちょっとアドバイス

- やり取りをする時に、短い会話で終わらせない、長く続けるということを学習者に意識してもらえるようにしてください。

⑦ 話読聞書

一文でのやり取りだけではなく、いくつかの文を連ねて「固まり」で、自分のこと、自分の考えを話すことを目指します。1課ごとにテーマがあり、自分の中にさまざまなストーリーを蓄積していきます。



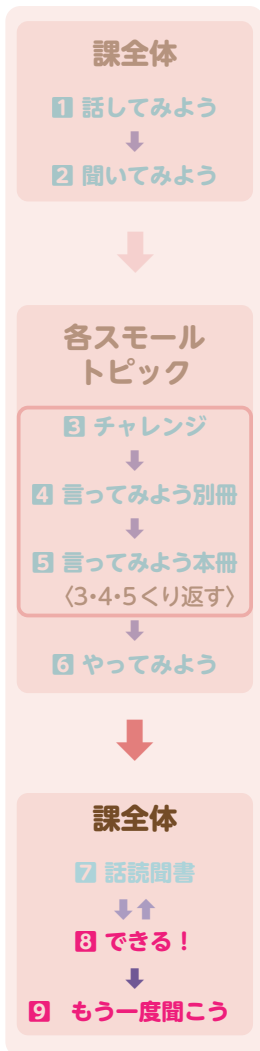
進め方

- 「話読聞書」のテーマについて質問をしながら進めます。右側にある「吹き出し」は一つの例です。グループやペアで学習者同士質問し合ったり、クラス全体で話したりします。
- 自分で「固まり」で話します。
- 一人ずつ発表をしたり、ペアやグループで発表したりします。また、話したことを書く、読む活動につなげます。

ちょっとアドバイス

- 「話読聞書」は、初級、初中級を通じて学習者が文の構成を意識できることなので、飛ばさずに必ず実施するようにしてください。

「初級」「初中級」の構成と授業の流れ



実践例



課ごとの道しるべ

8 できる!

「できる!」は、課のゴールです。行動目標に即した総合的な活動を行います。

進め方

- 課によって、さまざまな取り組みが考えられます。また、クラスや学習者のレベルに合わせて、何をするか考えます。

ちょっとアドバイス

- 「話読聞書」と「できる!」は、どちらを先にしてもかまいません。課やクラスによって取り扱う順番を変えたり、連動させたりすることもできます。
- 「できる!」で何をするかを考えるときには、その課の行動目標をぜひ見返してください。また、何をするか迷ったときには、サイト「できる日本語ひろば」の実践例や「課ごとの道しるべ」も参考にしてください。

実践例: <http://www.dekirunihongo.jp/?cat=31>

課ごとの道しるべ: http://www.dekirunihongo.jp/?page_id=942

9 もう一度聞こう

最初に「聞いてみよう」で聞いた内容を、最後にもう一度聞いてみます。課の学習に入る前にはよく聞き取れなかったことも、その課の学習が終わったときには、聞き取れるようになります。それによって、学習者に達成感が生まれます。

進め方

- 一度に流して聞いてみます。課末にスクリプトが載っているので、聞いたあとで、それを使って確認することもできます。クラスに合わせて進めてください。

ちょっとアドバイス

- 聞く時は、課末のスクリプトは見ないで聞くようにしてください。



巻末にある資料

[初級]の巻末にある資料	
1	ポイント一覧 その課で学ぶ学習項目が例文とともに載っています。 例: 第1課1 N1 は N2 です パクさんは学生です。 私は中国人です。 私は26歳です。 使い方: ・学習者が習ったことを整理するときに使います。 ・基本的に授業中は使いません。
2	表 ○動詞・形容詞・名詞の表 ○動詞の活用 ○丁寧形と普通形 ○数字 ○カレンダー ○時間 ○年齢 ○ものの数え方 ○日、週、月、年 ○自動詞と他動詞 ○親族名称
3	索引 本冊と別冊に出ている語を五十音順にしています。
4	シラバス一覧 「タイトル・課の行動目標・STタイトル・できること・学習項目」が載っています。



サポート情報



「できる日本語」シリーズ総合情報サイト「できる日本語ひろば」

<http://www.dekirunihongo.jp/>



「できる日本語ひろば」は「できる日本語」シリーズを使っていらっしゃる方、関心のある方のための総合情報サイトです。シリーズのコンセプトや、各レベル・副教材などの説明、語彙の各国語翻訳、実践例や『できる日本語』紹介ビデオ・授業ビデオなどを掲載しています。このサイトは、プロジェクトの仲間やユーザーの方々の協力のもと、監修者が運営しています。

各種サポート

「できる日本語」シリーズの理解や、授業の準備、授業中に役立つサポートが揃っています。ぜひ活用してください。



授業・説明動画

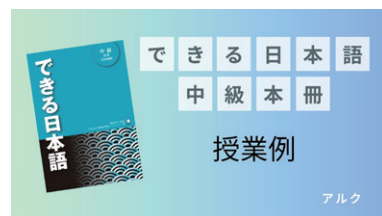
http://www.dekirunihongo.jp/?page_id=1156

「初級」「中級」の授業の流れが一通りわかる授業動画、シリーズの全体像や特徴・構成の説明動画、副教材の説明動画などがあります。

- 初級授業の進め方
- 中級授業の進め方
- 『できる日本語』スタートアップ講座
- 全体像・特徴・構成説明
- 副教材の説明 など



アルク



アルク



初級・初中級の「課ごとの道しるべ」

http://www.dekirunihongo.jp/?page_id=942

授業の進め方のポイントや留意点などが課ごとにまとまっています。ダウンロードしてお使いください。



中級 ヒント&ポイント

http://www.dekirunihongo.jp/?page_id=183

タスクの前後での学習者への問いかけ例や、進め方のポイントなどが課ごとにまとまっています。ダウンロードしてお使いください。



実践例

<http://www.dekirunihongo.jp/?cat=31>

初級・初中級・中級の「できる！」の実践例などを掲載しています。



テスト&プリント類

http://www.dekirunihongo.jp/?page_id=238

「できる日本語」シリーズを採用している方には、確認テスト等を差し上げています。また、採用を検討したい、という方向けにはサンプルをお送りしています。申し込みフォームから申し込みください。

- ・初 級:3課ごとのテスト
- ・初中級:3課ごとのテスト
- ・中 級:2課ごとのテスト
1課ごとのプリント類とテスト
- ・タスクごとの授業用プリントと宿題プリント
- ・「知って楽しむ」宿題プリント
- ・課のまとめプリント



お申込みフォーム

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdlKgoqAVnMv241wucqXhHB9Ux0ajyfN-aN9SrKtqMmse6riw/viewform>



語彙翻訳

http://www.dekirunihongo.jp/?page_id=175

各課語彙の各国語翻訳をご案内しています。ダウンロードしてお使いください。

サポート情報

音声ダウンロード(無料)

アルクのダウンロードセンター、専用アプリBoocoから音声をダウンロードしていただけます。

PC 専用



アルクダウンロードセンター
<https://portal-dlc.alc.co.jp/>
書籍名を入れて検索してください。



スマートフォンまたは iPad



アプリ「booco」のインストール(無料)が必要です。インストール後、booco内で該当書籍を検索してダウンロードしてご利用ください。音声の再生速度を変えて聞くこともできます。



<https://www.booco.jp/>

〈アプリインストール後の音声のダウンロード・再生方法〉

- ① ホーム画面下「さがす」をタップ
- ② 検索ボックスに、書籍名を入力して検索
- ③ 検索結果の書籍をタップし、書籍トップを表示後、「聞く」をタップ
- ④ 音声一覧より、お聞きになりたい音声をタップし再生



アルクのWEBサイト日本語ジャーナル カテゴリ「できる日本語」

<https://x.gd/5k3Dc>



『できる日本語』を使った評価についての連載や、「できること」に注目した教科書について考える連載「教科書について考えてみませんか」など、「できる日本語」シリーズに関連した記事を掲載しています。

- 『できる日本語』を使った「評価」について考えてみませんか
 - 第1回 試験のあり方を見直す
 - 第2回 パフォーマンス評価に向き合う
 - 第3回 「次の学びにつながる評価」に取り組む
- 【連載】教科書について考えてみませんか
 - 第1回 教科書を考えるって面白い！
 - 第2回 どんな教科書と付き合っていますか？
 - 第3回 タスク先行型授業にチャレンジ！ など

採用を検討中、採用後のご相談

監修者による説明会や研修会なども行っております。以下までご連絡ください。

nihongo_support@alc.co.jp(アルク日本語教材サポート)

ご案内

アルクのウェブサイト・SNS・メールマガジン



ウェブサイト

日本語教育に関する最新情報をチェック！



『日本語ジャーナル(NJ)』

<https://shop.alc.co.jp/blogs/nihongo-journal>

今日本語教育界で起きていること、日本語教員試験の情報、身近な日本語にまつわる話など、様々な方にお楽しみいただける、総合情報サイトです。



SNS

日本語教育関連ニュース、新刊情報などをタイムリーにお届けします。



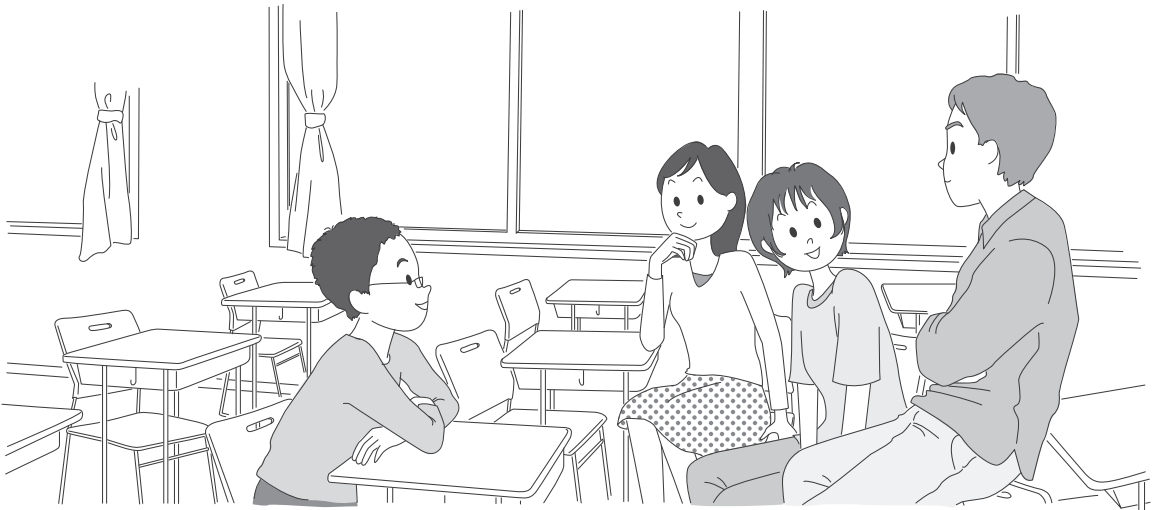
アルク日本語教育 Facebook

<https://www.facebook.com/alc.nihongo>



アルク日本語教育 X (旧 Twitter)

https://twitter.com/alc_nihongo





『できる日本語』、アルクの商品・サービスに関するお問い合わせ

E-mail: nihongo_support@alc.co.jp

